

特定非営利活動法人 文京教育トラスト

平成 21 年度（第 9 期）事業報告

（平成 21 年 1 月 1 日～平成 21 年 12 月 31 日）

皆様のご支援をいただいたおかげで、NPO 法人文京教育トラストは、9 年目の 2009 年度（2009 年 1 月 1 日～2009 年 12 月 31 日）を無事終了することができました。ここに謹んで皆様にご報告いたします。

今期の収入は 10,710,544 円（前期比 19.8%増）となりました。設立してはじめて 1000 万円の大台を超えました。しかし、最終的な当期収支は、272,755 円の赤字になり、昨年度達成した黒字体質の継続は出来ませんでした。

この結果は、主に、いままで無償ボランティアに依存していた運営スタッフに対する経費を計上したこと、家賃の支払い比率を高めたこと、そして累積する NYH 社に対する未払い費用を精算したことなど本来負担すべき経費を計上したことによります。

収益面で大いに寄与した最大事業は、昨年度から引き続き実施した「はじめての英語教室」です。文京区 3 拠点で実施し、文京区の公立小学校全体を対象にできたことにより参加者の平均した獲得が可能となりました。

こどもステーション英語教室は、9 年目を迎え安定した顧客を確保しましたが、平均参加者は、34 名（昨年度 1 回平均参加者）が 30 名をきるまでに減っています。この理由は、幼児の獲得活動が少なかったことに加え、小学生高学年になっても継続する児童の人数が少ないことによると判断します。

文林中、第三中の学力支援活動は、昨年と同様に引き続き年間を通じて活動しました。

その他特筆すべき点は、今年はじめて農業体験教室を厚農省の外郭団体である社団法人全国農村青少年教育振興会の受託事業「安全・安心 おいしい野菜作り講座」を実施したことです。厚労省の関係者や農業の専門家との協働活動ができたことにより農業教室に対する姿勢や考え方に大きなプラスとなりました。

当会は、地域のコミュニティの力を結集することで、こども達の教育環境を整え、より一層、地域力＝Social Capital を増加させ、社会に貢献することを目指してまいります。

今後とも皆様のご積極的なご支援・ご協力をお願いする次第です。よろしくごお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 文京教育トラスト
代表理事 村上 庸子

2010年3月1日

監査報告書

私は、平成21年1月1日から平成21年12月31日までの平成21年度収支計算書、並びに貸借対照表及び財産目録について、総勘定元帳、その他これらの関連する帳簿などを監査した。

また、業務の執行については、事業報告について説明を求め、監査を実施した。本法人の財務諸表は、平成21年度における収支並びに年度末における財産の状況を適正に表示しており、業務は定款に準拠し、適切に執行されたものであることを認めた。

平成22年3月1日

特別非営利活動法人 文京教育トラスト
監事 松井 孝司
監事 新倉 恵治
監事 塚本 正昭